

- 問1 日本で聖徳太子が摂政として政治を行っていた593年から、天武天皇による治世が始まる672年までの期間（7世紀初め）に、アラビア半島で成立した宗教を次から選びなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）
1. キリスト教

2. ユダヤ教

3. イスラム教

4. 仏教
- 問2 平安時代中期に藤原氏が「摂関政治」を完成させ、長期にわたって権力を維持できた理由として、最も適切な背景はどれですか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
1. 天皇の母方の祖父という立場を確保し、天皇との血縁関係を極めて強く保持し続けたから。

2. 班田収授の法を厳格に運用し、全ての農民に土地を均等に配分することで税収を安定させたから。

3. 律令に基づき、地方の国司を武士の中から選ぶことで、軍事的な統制力を高めたから。

4. 「武士の気風」を尊ぶことで、新興の武士階級と協力して地方の反乱を鎮圧したから。
- 問3 平安時代中期から後期にかけて、藤原氏が行った「摂関政治」から白河天皇が始めた「院政」へと政治の形が変化した背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 平氏などの武士団が朝廷の警護を行うようになり、武力による裏付けをもって新しい政治体制を築こうとしたため。

2. 藤原道長が自らの娘を天皇の后とすることで、天皇に代わって一切の政務を代行する仕組みを完成させたため。

3. 地方の武士が勢力を伸ばしたため、天皇が国司の監督を強化して地方支配を安定させる必要があったため。

4. 天皇が位を退いて上皇となり、天皇の外祖父として権力を振るった藤原氏などの貴族を抑えて実権を握ろうとしたため。
- 問4 中尊寺金色堂が位置する岩手県平泉に関連する記述として、歴史的な事実に基づいた正しいものはどれか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
1. 平泉は源頼朝の命によって、東国を統治するための幕府の出先機関である「奥州総奉行」が設置された政治の中心地である。

2. 室町時代に足利義政が隠居所として開発した地域であり、簡素な美しさを尊ぶ「わび・さび」の文化の源流となった。

3. 平安京の景観を完全に模倣して造られたため「北の京」と呼ばれ、遣唐使によってもたらされた最新の大陸文化が花開いた。

4. 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。
- 問5 10世紀の平安時代中期、地方政治の混乱に乗じて、瀬戸内海の家賊を率いて朝廷に対し反乱を起こした人物は誰か。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 藤原道長

2. 藤原純友

3. 坂上田村麻呂

4. 平将門
- 問6 平安時代末期に平清盛が太政大臣となり、平氏一門で高官を独占して権力を掌握した際、かつての摂関政治の仕組みを模倣して行った政治手法として最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 朝廷から全国の公領を管理する権利を奪い、各地に代官を派遣して年貢を直接徴収することで、経済的な基盤を固める手法。

2. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治に介入する手法。

3. 各地の武士と直接の主従関係を結び、彼らに土地の支配権を保障する代わりに、軍事的な奉仕を誓わせる手法。

4. 天皇から「征夷大將軍」の役職に任命されることで、朝廷とは独立した独自の行政機関を組織して政治を行う手法。
- 問7 日本列島のほぼ中央、現在の京都府京都市にあたる場所に、794年に桓武天皇によって遷された都を何といいますか。（2016年 北海道公立入試 類似）
1. 鎌倉

2. 長岡京

3. 平城京

4. 平安京
- 問8 平安時代に紫式部が『源氏物語』を執筆した際の時代背景について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 島根県公立入試 類似）
1. 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広がった。

2. 大陸との交流が盛んになり、最新の唐の文学理論をそのまま取り入れることが奨励された。

3. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれたため、戦の様子を伝える文学が主流となった。

4. 仏教を広めるために幕府が平易な文字の使用を命じ、庶民の間で娯楽としての読書が急速に普及した。
- 問9 平安時代の政治において、藤原氏による摂関政治が全盛期を迎えていた時期の社会背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この時期には、1053年に建立された平等院鳳凰堂に代表されるような、極楽浄土を願う信仰も広まりました。（2019年 滋賀県公立入試 類似）
1. 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。

2. 遣唐使を通じて唐の進んだ制度や仏教文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな文化が形成された。

3. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの簡素な美しさを尊ぶ文化が形成された。

4. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が東国を中心に広がった。
- 問10 894年に遣唐使が停止されたことを一つの契機として、10世紀頃の日本では、それまでの大陸文化を基礎としながらも日本の風土や生活、日本人の感情に合わせた独自の文化が発達しました。この文化の名称として正しいものはどれですか。（2026年 広島県公立入試 類似）
1. 国風文化

2. 弘仁・貞観文化

3. 天平文化

4. 桃山文化
- 問11 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子が政治の実権を握っていた時期の体制について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
1. 天皇が位を譲って上皇となり、天皇の父方の親戚として実権を握りながら政治を行う院政。

2. 自身の娘を天皇の后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。

3. 天皇との親戚関係を一切持たず、実力主義で選ばれた官僚たちが合議によって政治を行う律令政治。

4. 地方の有力な武士と養子縁組を繰り返し、武力による裏付けをもって朝廷の役職を独占する武家政治。
- 問12 701年に制定された、唐の法律にならって全国を治めるための仕組みを明確にした法典を何といいますか。この法典の完成により、二官八省の官制や租・庸・調などの税制が整い、天皇を中心とした中央集権的な国家体制が確立されました。（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 御成敗式目

2. 十七条の憲法

3. 武家諸法度

4. 大宝律令
- 問13 平安時代後期に行われた「院政」と呼ばれる政治の仕組みや背景について、正しい説明はどれですか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
1. 地方の混乱を抑えるために有力な武士を国司として派遣し、土地の管理を直接行わせる制度。

2. 仏教による国家の安定を目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して人々の心を掌握する政治。

3. 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。

4. 藤原氏の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで権力を独占する仕組み。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 イスラム教	イスラム教は、ムハンマドによって7世紀初めにアラビア半島のメッカで開かれました。この時期の日本は、聖徳太子（厩戸王）が冠位十二階や十七条の憲法を制定し、遣隋使を派遣するなど、中央集権国家の形成が進んでいた飛鳥時代に当たります。
問2	答え 1 天皇の母方の祖父という立場を確保し、天皇との血縁関係を極めて強く保持し続けたから。	摂関政治の最大の特徴は、藤原氏が天皇の「外祖父（母方の祖父）」になることにあります。当時の慣習では子供は母親の実家で育てられることが多かったため、母方の祖父は天皇に対して強い影響力を持つことができました。藤原道長はこの仕組みを最大限に利用し、娘たちを次々と天皇に嫁がせることで、揺るぎない権力基盤を構築しました。
問3	答え 4 天皇が位を退いて上皇となり、天皇の外祖父として権力を振るった藤原氏などの貴族を抑えて実権を握ろうとしたため。	摂関政治は、藤原氏が自分の娘を天皇の后にし、生まれた子を天皇に立てて、その外祖父として権力を振るうものでした。これに対し、藤原氏と血縁関係の薄い天皇が即位したことをきっかけに、天皇が位を譲った後も「上皇」として政治を行う院政が始まりました。これにより、摂政や関白として実権を握っていた藤原氏ら貴族の影響力を排除し、皇室が主導権を取り戻すことが目的とされました。
問4	答え 4 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。	平泉は奥州藤原氏三代（清衡、基衡、秀衡）の時期に、仏教の理想郷を目指した都市として整備されました。中尊寺だけでなく毛越寺の庭園などにも有名です。2011年には「平泉―仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群―」として、世界文化遺産に登録されました。
問5	答え 2 藤原純友	10世紀前半、地方政治の緩みから各地で武士が台頭始めました。もともと伊予国（現在の愛媛県）の役人であった藤原純友は、瀬戸内海の手海賊を組織して朝廷に反旗を翻しました。同時期に関東で発生した平将門の乱とともに「承平・天慶の乱」と総称され、これらを鎮圧する過程で武士の力が中央に認識されるようになりました。
問6	答え 2 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治に介入する手法。	平清盛は、かつて藤原氏が摂関政治で用いた手法を武士として取り入れました。具体的には、娘の徳子を高倉天皇の后に入れ、その間に生まれた安德天皇を即位させることで、天皇の外祖父（母方の祖父）という立場から強い政治力を発揮しました。これは武力による支配だけでなく、血縁関係を通じて朝廷内部から権力を握ろうとしたものです。
問7	答え 4 平安京	桓武天皇は、政治の刷新と仏教勢力の影響を断ち切ることを目的として、794年に現在の京都市へ都を移しました。これが平安京であり、その後明治時代に至るまで、約1000年以上にわたって日本の中心的な都として機能し続けました。
問8	答え 1 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広がった。	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、中国の影響を消化しつつ日本の感性に合わせた「国風文化」が成立しました。それまで公的な文書は漢字（真名）で書かれていましたが、日常的な感情や細やかな情景を表現するのに適した「かな文字」が使われるようになり、紫式部らによる物語文学の開花につながりました。
問9	答え 1 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。	摂関政治の全盛期は国風文化の円熟期にあたります。この時期、紫式部による『源氏物語』や清少納言による『枕草子』といった、かな文字を用いた文学作品が誕生しました。また、建築面では阿弥陀如来を祀る平等院鳳凰堂が建立されるなど、日本の風土に根ざした貴族文化が花開きました。
問10	答え 1 国風文化	菅原道真の建議により遣唐使が廃止されたことで、中国（唐）との直接的な交流が減少しました。その結果、それまでに取り入れた大陸文化を日本人の感性に合うよう消化・再構成する動きが強まり、日本独自の「国風文化」が形成されました。この時期は貴族が政治の中心であったため、貴族の生活様式を反映した文化が中心となっています。
問11	答え 2 自身の娘を天皇の后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。	藤原氏は平安時代、天皇との婚姻関係を深めることで権力を維持しました。自分の娘が産んだ子（孫）を天皇に立て、自分は天皇の母方の祖父という立場を利用して、幼い時には摂政、成人してからは関白として政治を主導しました。この仕組みを「外戚（がいせき）関係」と呼びます。
問12	答え 4 大宝律令	文武天皇の時代に完成したこの法典により、日本は法に基づく統治を行う「律令国家」としての歩みを本格化させました。それまでの慣習的な統治から、文書による組織的な行政運営へと移行した点が大きな転換点です。選択肢にある武家諸法度は、江戸時代に幕府が武士を統制するために出したものであり、この時代のものではありません。
問13	答え 3 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。	院政は、藤原氏が摂政や関白として権力を独占する「摂関政治」に対抗し、天皇家が政治の主導権を取り戻すために行われました。上皇は「院庁」という独自の役所を置き、北面の武士を組織して警護にあたらせるなど、従来の官僚組織とは異なるルートで政治を動かしました。藤原氏の婚姻政策は摂関政治の特徴であり、国分寺の建立は奈良時代の聖武天皇による政策です。

- 問1 平安時代の政治史において、藤原道長の娘である彰子が一条天皇の後となり、後の後一条天皇が生まれた流れと、平清盛の娘である徳子が高倉天皇の後となり、安徳天皇が生まれた流れには共通点があります。これらの事例から読み取れる、平氏の政治手法の背景として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 天皇の母方の親戚という立場を利用し、摂関家と同様の仕組みで朝廷の権力を握ろうとした。 | 2. 武力によって天皇を退位させ、武士独自の新しい政治制度を樹立しようとした。 | 3. 上皇が政治を行う「院政」を支える組織として、独自の軍事貴族の地位を確立しようとした。 | 4. 地方の武士団を直接統制するために、各国に守護を配置して軍事的なネットワークを構築した。 |
|---|---|---|--|
- 問2 平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として東北地方に独自の勢力を築いた一族が、その豊富な経済力を示すために建立した代表的な建造物はどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 平等院鳳凰堂 | 2. 鹿苑寺金閣 | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 東大寺大仏殿 |
|-----------|----------|-----------|-----------|
- 問3 平安時代に発達した「かな文字」が、当時の文化に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 仏教の教えを庶民に分かりやすく伝えるため、サンスクリット語の文字を簡略化して作られた。 | 2. 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。 | 3. 万葉集などの和歌を、意味を重視した漢字一文字のみで記録する手法として全国に広まった。 | 4. 中国の宋から伝わった漢字の読み方を正確に記録するために、公文書のすべてで「かな」が使われるようになった。 |
|--|---|---|---|
- 問4 平安時代初期、桓武天皇から軍の最高指揮官である「征夷大將軍」に任命され、東北地方で朝廷に抵抗していた蝦夷(えみし)を服属させた人物は誰ですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-----------|----------|
| 1. 平清盛 | 2. 源頼朝 | 3. 坂上田村麻呂 | 4. 阿部比羅夫 |
|--------|--------|-----------|----------|
- 問5 12世紀の東北地方において、平泉を中心に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、極楽浄土を地上に表現するために建立した建築物があります。内外を金箔で覆った豪華な装飾が特徴的な、この阿弥陀堂の名称として正しいものを次のうちから選びなさい。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 東大寺大仏殿 | 2. 法隆寺五重塔 | 3. 平等院鳳凰堂 | 4. 中尊寺金色堂 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
- 問6 平安時代末期の東北地方において、産出される金や北方貿易による経済力を背景に、平泉を中心に独自の文化を栄えさせた一族の名前と、その拠点となった地名の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-------------|----------|
| 1. 平氏と六波羅 | 2. 北条氏と小田原 | 3. 奥州藤原氏と平泉 | 4. 源氏と鎌倉 |
|-----------|------------|-------------|----------|
- 問7 岩手県の平泉を拠点とし、平安時代末期に大きな勢力を誇った奥州藤原氏によって建立された、豪華な装飾で知られる阿弥陀堂を何といいますか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------------|-----------|-----------|
| 1. 平等院鳳凰堂 | 2. 蓮華王院本堂 (三十三間堂) | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 東大寺南大門 |
|-----------|-------------------|-----------|-----------|
- 問8 平安時代の政治の変遷において、藤原道長と平清盛の政治的な手法や地位について述べた文として正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 藤原道長は娘を天皇の后にして摂政として権力を握り、平清盛は武士として初めて太政大臣となって実権を握った | 2. 藤原道長は征夷大將軍として鎌倉に幕府を開き、平清盛は六波羅を拠点に公家を排除した独裁政治を行った | 3. 藤原道長は律令制度の復活を目指して国司を強化し、平清盛は日宋貿易を禁止して国内の農業を重視した | 4. 藤原道長は院政を開始して上皇として政治を操り、平清盛は足利尊氏と協力して新しい武家政権を樹立した |
|--|---|--|---|
- 問9 国風文化の特色の一つとして、日本人の感情を細やかに表現できるようになったことが挙げられます。この背景にある、文字の成立に関する説明として最も適切なものを選んでください。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 仏教の経典を正確に写経するために、サンスクリット語をもとにした文字が使われた。 | 2. キリスト教の布教とともに伝わったローマ字が、貴族の間で急速に広まった。 | 3. 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。 | 4. 朝鮮半島から伝わった「ハングル」をもとに、日本語の音に合わせた文字が作られた。 |
|--|--|---|--|
- 問10 光仁天皇の後に桓武天皇が即位し、元号が延暦に改められた時期の出来事として、東北地方において朝廷の支配を拡大させるために行われたことは何ですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じ、蝦夷と呼ばれた人々の抵抗を抑えた | 2. 平将門の乱を鎮圧するために、関東地方へ大規模な軍隊を派遣した | 3. 奥州藤原氏を登用し、平泉を中心に平和な地域社会を築かせた | 4. 防人を配置して、唐や新羅による侵攻に備えて北方の守りを固めた |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問11 平清盛が推進した日宋貿易に関する記述として、その背景や具体的な取り組みについて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 平氏は足利義満が始めた勘合貿易を参考に、倭寇による密貿易を防ぐための証明書を発行して、宋との公的な交易を独占した。 | 2. 平氏は唐の制度を取り入れるために大輪田泊を整備したが、菅原道真の建議によって貿易は一時中断されることとなった。 | 3. 平氏は瀬戸内海の航路を掌握し、現在の神戸市にある大輪田泊を改修することで、宋の大型船が直接入港できる体制を整えた。 | 4. 平氏は新羅や高句麗といった朝鮮半島の諸国との交易を重視し、日本海側の港を拠点として武器の輸出を盛んに行った。 |
|--|--|--|---|
- 問12 8世紀の天平文化などが大陸の影響を強く受けていたのに対し、遣唐使の停止を経て10世紀から11世紀にかけて日本独自の貴族文化が成立しました。この時期に成立し、源氏物語や枕草子などの文学作品が生み出された文化の名称を次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 桃山文化 | 2. 弘仁・貞観文化 | 3. 国風文化 | 4. 元禄文化 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問13 8世紀の歴史年表において、奈良時代の終わりから平安時代の始まりにかけて、仏教勢力から距離を置き政治を立て直すために、平城京から長岡京、さらに平安京へと都を移した天皇は誰ですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 持統天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 天武天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 瀬戸内海の海上に位置し、平氏一族が日宋貿易の安全を祈願して厚く信仰したことで知られ、その航路上の重要拠点として大規模な社殿が整備された神社はどれか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 厳島神社 | 2. 宇佐神宮 | 3. 出雲大社 | 4. 鹿島神宮 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇の母方の親戚という立場を利用し、摂関家と同様の仕組みで朝廷の権力を握ろうとした。	平清盛は、藤原氏が全盛期を築いた「摂関政治」のモデルを継承しました。具体的には、娘を天皇の妃に送り込み、誕生した皇子を天皇に即位させることで、自らが天皇の祖父（外戚）として権力を振るう手法です。これにより、平氏は単なる武士団のリーダーとしてだけでなく、朝廷の最高権力者としての地位を固めました。一方で、この急速な権力集中は他の貴族や武士、寺社勢力の反発を招く原因にもなりました。
問2	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、陸奥国（現在の東北地方）で産出される金や馬を背景に莫大な富を蓄えました。初代の藤原清衡は、度重なる戦乱で亡くなった人々を供養し、仏教による平和な理想郷を築くために平泉を拠点としました。その象徴である中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った豪華な造りであり、当時の東北地方における高度な技術と繁栄を現在に伝えています。
問3	答え 2 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた国風文化が成立しました。かな文字の誕生によって、特に貴族の女性たちの間で、自分の心情を豊かに表現した物語や随筆などの文学作品が執筆されるようになりました。
問4	答え 3 坂上田村麻呂	桓武天皇は平安京への遷都とともに、律令国家の支配を広げるため東北地方の平定に力を入れました。この時、大軍を率いるリーダーとして起用されたのが坂上田村麻呂です。彼は蝦夷の首長であったアテルイを降伏させ、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどの功績を挙げました。阿部比羅夫は飛鳥時代に東北へ派遣された人物、源頼朝は鎌倉幕府を開いた人物です。
問5	答え 4 中尊寺金色堂	現在の岩手県平泉を拠点とした奥州藤原氏は、清衡・基衡・秀衡の三代にわたって栄華を極めました。中尊寺金色堂はその全盛期を象徴する阿弥陀堂であり、当時この地域で豊富に産出された金を用いた豪華な装飾が施されています。源頼朝によって奥州藤原氏が滅ぼされる前の、北方の政治・文化の中心的役割を物語る貴重な遺構です。
問6	答え 3 奥州藤原氏と平泉	陸奥国（現在の東北地方）では、11世紀末から12世紀にかけて奥州藤原氏が勢力を拡大しました。彼らは京都の文化を吸収しつつ、平泉を拠点に中尊寺や毛越寺などを建立し、仏教の教えに基づく平和な理想郷を目指しました。これら平泉の文化遺産は、その歴史的価値から世界文化遺産にも登録されています。
問7	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、清衡・基衡・秀衡の3代にわたって平泉を本拠地とし、東北地方で独自の文化を築きました。中尊寺金色堂は、その繁栄を象徴する建造物で、内外に金箔が貼られ、螺鈿（らでん）などの高度な工芸技術が凝らされた阿弥陀堂です。当時の地方武士が京都の文化を積極的に取り入れ、独自に発展させた様子を現代に伝えています。
問8	答え 1 藤原道長は娘を天皇の后にして摂政として権力を握り、平清盛は武士として初めて太政大臣となって実権を握った	藤原道長は自分の娘を次々と天皇の后（中宮）にすることで、天皇の親族（外戚）として摂政などの役職に就き、いわゆる摂関政治の最盛期を築きました。その後、武士として急速に勢力を伸ばした平清盛は、武士として初めて太政大臣に任命され、朝廷の要職を平氏一族で占めるなど、後の武家政権への先駆けとなる政治を行いました。
問9	答え 3 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。	国風文化の時期には、漢字の草書体をさらにくずした「平仮名」や、漢字の一部からとった「片仮名」が考案されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の微妙な感情や言葉を自由に書き表せるようになり、『源氏物語』や『枕草子』といった優れた女流文学が生まれる大きな要因となりました。
問10	答え 1 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じ、蝦夷と呼ばれた人々の抵抗を抑えた	桓武天皇の時代には、東北地方への勢力拡大が積極的に進められました。坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、朝廷に抵抗していた蝦夷のリーダーであるアテルイを降伏させるなど、東北北部まで支配を広げました。なお、光仁天皇から桓武天皇への代わり目での改元は、新しい天皇の即位（代始改元）を示す歴史的な区切りでもあります。
問11	答え 3 平氏は瀬戸内海の航路を掌握し、現在の神戸市にある大輪田泊を改修することで、宋の大型船が直接入港できる体制を整えた。	平清盛はそれまで九州の大宰府で行われていた貿易を、自身の拠点に近い近畿圏に引き寄せようと考えました。そのため、瀬戸内海の航路を整備し、難所を工事するとともに、大輪田泊を修築して宋の商船が奥まで入れるようにしました。これにより、輸入した宋銭を国内で流通させるなど、強力な経済力を手に入れました。
問12	答え 3 国風文化	遣唐使の停止によって大陸との公的な往来が絶えたことで、日本の風土や生活、日本人の感情に即した「国風文化」が成立しました。この文化圏では、中国の漢字を崩して作られた平仮名やカタカナが広く使われるようになり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』などの優れた女流文学が誕生したほか、貴族の住居である寝殿造や大和絵といった日本特有のスタイルが確立されました。
問13	答え 4 桓武天皇	奈良時代後半、平京城では仏教勢力が政治に強く介入し、律令政治が乱れていました。これを刷新するため、784年に長岡京へ、続いて794年に山背国（現在の京都府）の平安京へと遷都を行い、新しい政治体制を築こうとしました。
問14	答え 1 厳島神社	広島県の宮島に位置する厳島神社は、平氏一族の守り神として崇敬されました。平清盛は日宋貿易の航路整備の一環として、この神社の社殿を現在のような海上に浮かぶ美しい姿に整えました。これにより、瀬戸内海の海上交通の安全を祈るとともに、一族の権威を周辺の武士や貴族に示しました。

- 問1 平安時代、藤原氏が権力を握るために利用した官職のうち、天皇が成人した後に、その事務を総覧し政治を補佐する最高位の役職を何と呼びますか。 (2025年 高知県公立入試 類似)
1. 関白 2. 太政大臣 3. 摂政 4. 内大臣
-
- 問2 日本の古代政治の変遷を記した年表において、律令に基づく政治のしくみが整えられた時期の次に来る、藤原道長が活躍した「時代の特色」として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 武士が政治の表舞台に現れ、土地の支配をめぐる争いを解決するために幕府を開いた。 2. 実力のある戦国大名が各地を支配し、統一政権を目指して激しい抗争を繰り返した。 3. 位を退いた天皇が上皇となり、摂政や関白を排除して政治の実権を握った。 4. 天皇との親戚関係を背景に、有力な貴族が摂政や関白の職に就いて政治を主導した。
-
- 問3 平清盛が率いる平氏は、急速な勢力拡大に対して反発した源氏との間で、全国規模の争乱を繰り返しました。平氏が最終的に滅亡した、現在の山口県に位置する戦いの場所として適切なものを答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 富士川 2. 屋島 3. 壇ノ浦 4. 一の谷
-
- 問4 東北地方に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、鎌倉時代初期に滅亡へと追い込まれた背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 鎌倉幕府を樹立しようとする平清盛の勢力拡大に巻き込まれたため 2. 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため 3. 足利尊氏による新しい政治体制の樹立を拒み、武家勢力の反感を買ったため 4. 自由な商工業を重視する政策が、当時の朝廷が定めた律令制度に違反したため
-
- 問5 12世紀の日本と諸外国との貿易に関する記録には、ある人物が航路や港を整備して貿易を拡大させたことが記されています。この人物が、武士として初めて就任した最高官職の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 成人後の天皇を補佐する関白 2. 天皇に代わって政治を行う摂政 3. 朝廷の最高機関である太政官のトップである太政大臣 4. 幕府を開くために朝廷から任命される征夷大將軍
-
- 問6 平安時代、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の「国風文化」が発達しましたが、この時期に貴族が住んでいた、中心となる建物と廊下、池のある庭園などが特徴的な建築様式を何といいますか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 書院造 2. 合掌造 3. 寝殿造 4. 武家造
-
- 問7 794年に、政治を立て直し、仏教勢力の政治介入を避けるなどの目的で、現在の京都に桓武天皇によって移された都を何といいますか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 平城京 2. 平安京 3. 長岡京 4. 恭仁京
-
- 問8 国風文化の時期には、かな文字の発達により優れた文学作品が多く書かれました。紀貫之らが天皇の命を受けて編纂した、日本で最初の勅撰和歌集（天皇の命令でまとめられた和歌集）は何ですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 古今和歌集 2. 新古今和歌集 3. 万葉集 4. 懐風藻
-
- 問9 日本の有形文化財の分類において、奈良県の東大寺の大仏と並び、東北地方の代表的な歴史的建造物として岩手県に現存する中尊寺金色堂があります。この建物を建立し、本拠地である平泉を拠点として12世紀に三代にわたって繁栄した一族を選んでください。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 北条氏 2. 奥州藤原氏 3. 太宰府の官人 4. 平氏
-
- 問10 保元の乱から平治の乱へと続く一連の動乱が、日本の支配構造に与えた影響を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 全国に守護と地頭が設置されることで、地方武士が守護大名として独立し、幕府を介さない政治が行われた。 2. 軍事力を持つ武士が政治の実権を握るようになり、貴族中心の政治から武士中心の政治へと移行するきっかけとなった。 3. 公家と武士の融和が進んだ結果、武家諸法度が制定されて武士の行動が厳格に制限されるようになった。 4. 天皇の権限が絶対的なものとなり、院政が廃止されて武士は再び地方の警護を専門とする役職に戻った。
-
- 問11 福島県会津地方の歴史に関する記述の中で、地元の僧・徳一（とくいつ）が教義をめぐる激しい論争を行ったとされる、天台宗の開祖は誰ですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 最澄 2. 日蓮 3. 空海 4. 道元
-
- 問12 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子が政治の実権を握っていた時期の体制について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 天皇との親戚関係を一切持たず、実力主義で選ばれた官僚たちが合議によって政治を行う律令政治。 2. 自身の娘を天皇の后とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。 3. 天皇が位を譲って上皇となり、天皇の父方の親戚として実権を握りながら政治を行う院政。 4. 地方の有力な武士と養子縁組を繰り返し、武力による裏付けをもって朝廷の役職を独占する武家政治。
-
- 問13 平清盛が行った、自身の政治的・経済的な力を強めるための政策として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。 2. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。 3. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。 4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。
-
- 問14 白河上皇が院政を開始した背景とその政治的目的について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 摂関家との血縁が薄い後三条天皇の即位により、藤原氏による専制が弱まったことを受け、上皇自らが実権を握ろうとした。 2. 土地の国有化を進める班田収授法が機能しなくなったため、新しい戸籍制度を確立して律令国家を再建しようとした。 3. 仏教勢力の強まりに対抗するため、上皇は出家して法皇となり、寺院の武装化（僧兵）を完全に禁止しようとした。 4. 平氏や源氏といった武士の力が強大になったため、それらを鎮圧するために天皇が退位して軍事権を握ろうとした。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 関白	天皇がまだ幼少の間、その代わりを務める職を「摂政」と呼ぶのに対し、天皇が成人した後には置かれるのが「関白」です。藤原氏は娘を天皇の後（きさき）とし、生まれた子供が幼い間は摂政、成長してからは関白となって実権を握り続けました。これを摂関政治といいます。
問2	答え 4 天皇との親戚関係を背景に、有力な貴族が摂政や関白の職に就いて政治を主導した。	律令制度による中央集権的な政治が変化していく中で、平安時代中期には藤原氏が天皇の補佐役である摂政や関白を独占する摂関政治が確立されました。藤原道長はこの体制を最も強固にした人物であり、貴族が政治の中心を担ったこの時代の大きな特徴となっています。
問3	答え 3 壇ノ浦	源頼朝が挙兵した後、平氏は源義経らによって西へと追い詰められました。1185年、山口県の下関にある壇ノ浦で行われた海戦に敗れ、平氏政権は完全に滅びました。
問4	答え 2 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため	源頼朝は、対立した弟の源義経が平泉へ逃げ込んだことをきっかけに、奥州藤原氏への攻撃を開始しました。しかし、その背景には義経の保護という口実だけでなく、当時東北地方で独立した強大な勢力を持っていた奥州藤原氏を排除し、全国的な支配を確立したいという頼朝の政治的な目的がありました。
問5	答え 3 朝廷の最高機関である太政官のトップである太政大臣	平清盛は、現在の大輪田泊（神戸市）を修築するなどして日宋貿易を積極的に推進し、莫大な経済力を蓄えました。その背景には、武士として初めて太政大臣という高い地位に就き、朝廷において大きな発言権を得たことがあります。源頼朝が就任した征夷大將軍とは異なる、伝統的な官位制度の中での最高職を目指したのが特徴です。
問6	答え 3 寝殿造	平安時代の中期、日本独自の風土や感覚に合わせた国風文化が栄えました。この時期、貴族の邸宅として用いられた建築様式は「寝殿造」と呼ばれます。池を中心とした庭園を囲むように、中心となる建物（寝殿）と、そこから伸びる廊下（渡殿）でつながれた開放的な構造が大きな特徴です。
問7	答え 2 平安京	奈良時代末期、仏教勢力が政治に強く影響を及ぼすようになったため、桓武天皇はそれまでの平城京（奈良）から離れ、政治を一新しようとした。784年の長岡京への遷都を経て、794年に山城国の平安京へと都を移しました。これにより、以後約1100年にわたる平安時代の幕が上がりました。
問8	答え 1 古今和歌集	紀貫之らは、漢字を簡略化して作られた「かな文字」を用いることで、日本人の繊細な感情を和歌として表現しました。こうしてまとめられた『古今和歌集』は、その後の日本文学における和歌の地位を決定づける重要な作品となりました。
問9	答え 2 奥州藤原氏	現在の岩手県平泉町を本拠地とした奥州藤原氏は、清衡、基衡、秀衡の三代にわたり、東北地方で独自の文化を築き上げました。中尊寺金色堂は、その繁栄を象徴する豪華な阿弥陀堂であり、奥州で産出された豊富な金がふんだんに使われています。選択肢にある太宰府は九州の政治拠点であり、平泉とは地理的に全く異なる場所です。
問10	答え 2 軍事力を持つ武士が政治の実権を握るようになり、貴族中心の政治から武士中心の政治へと移行するきっかけとなった。	保元の乱において源氏や平氏の武士が活躍したことで、それまで貴族の「奉公人」的な立場であった武士の地位が劇的に向上しました。この乱の結果、武士は単なる兵力ではなく政治を動かす主体となり、平清盛が太政大臣に就任するなど、武家が政治の表舞台に立つ「武家政権」の時代を切り拓くことになりました。
問11	答え 1 最澄	会津の僧である徳一は、最澄との間で「三一権実論争（さんいちごんじつろんそう）」と呼ばれる、すべての人々が悟りを開けるかどうかについての論争を数年間にわたり繰り広げました。このエピソードは、最澄の教えが中央だけでなく地方へも影響を与えていたことを示す事例でもあります。
問12	答え 2 自身の娘を天皇の後とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。	藤原氏は平安時代、天皇との婚姻関係を深めることで権力を維持しました。自分の娘が産んだ子（孫）を天皇に立て、自分は天皇の母方の祖父という立場を利用して、幼い時には摂政、成人してからは関白として政治を主導しました。この仕組みを「外戚（がいせき）関係」と呼びます。
問13	答え 2 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。	平清盛は、かつての藤原氏が行った摂関政治と同じ手法を用いました。娘の徳子を高倉天皇のきさきにし、その子の安徳天皇を即位させることで、天皇の祖父（外戚）として強い発言力を持ちました。また、並行して大輪田泊（現在の神戸市付近）を整備し、日宋貿易を推進して経済力も蓄えました。
問14	答え 1 摂関家との血縁が薄い後三条天皇の即位により、藤原氏による専制が弱まったことを受け、上皇自らが実権を握ろうとした。	院政が始まる直接の背景には、藤原氏を外戚（母方の親戚）に持たない後三条天皇が即位し、摂関家を軽視する政治を行ったことがあります。その子である白河天皇は、この流れを引き継いで退位後に院政を始め、藤原氏から政治の主導権を奪い返しました。

- 問1 藤原道長の家系を示す記録において、娘の彰子が一条天皇の后となり、さらに別の娘である威子が後一条天皇の、嬉子が後朱雀天皇の后となっている状況から読み取れる、藤原氏が長期間にわたって権力を維持できた理由として最も適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- 娘たちがそれぞれ別の荘園を管理することで、藤原家全体の経済基盤を分散させ、財政の安定を図ったから。
 - 天皇を退位させて上皇とし、院政を開始するための準備として娘たちを宮中に送り込んだから。
 - 娘を天皇の后にすることで、武士の勢力を抑え込むための軍事的なネットワークを朝廷内に構築したから。
 - 複数の娘を異なる天皇の后にすることで、どの代の天皇に対しても常に母方の親戚という優位な立場を確保し続けたから。
- 問2 平安時代中期、遣唐使の派遣が停止されたことなどを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が栄えました。この時期に醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集を次の中から選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- 古今和歌集
 - 山家集
 - 新古今和歌集
 - 万葉集
- 問3 平清盛が、平氏の経済的基盤を強化するために行った経済政策として、正しい事実はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- 博多の港に「金印」を保管する施設を作り、中国の漢（後漢）から金や絹を輸入した。
 - 大輪田泊（現在の神戸市）を修築し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に推進した。
 - 長崎の出島にオランダ商館を移し、幕府が貿易の利益を独占する体制を整えた。
 - 堺や博多の商人に特権を与え、各地の関所を撤廃して楽市・楽座などの商業振興を行った。
- 問4 平安時代の浄土信仰が当時の美術や建築に与えた影響について、「阿弥陀仏」と「極楽浄土」という言葉を用いて説明した文として適切なものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- 阿弥陀仏の教えを否定し、厳しい自然の中で修行することで極楽浄土へ行けると説く山岳信仰が美術に反映された。
 - 極楽浄土の様子をこの世に再現しようとして、阿弥陀仏を本尊とする平等院鳳凰堂などが建立された。
 - 唐から伝わった最新の様式を取り入れ、極楽浄土よりも現世での利益を重視する阿弥陀仏の彫像が数多く作られた。
 - 阿弥陀仏を信じる特定の有力者のみが極楽浄土へ行けるとされたため、閉鎖的な寺院建築が主流となった。
- 問5 平安時代の文化の特色について述べた学習メモにおいて、「中国から取り入れた漢字を簡略化するなどして作られた文字が普及し、日本独自の感情や情景を表現する文学が発展した」という内容があります。この文字の名称と、その文字を用いて書かれた文学作品の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- 絵文字 — 鳥獣人物戯画
 - 梵字 — 密教の経典
 - 万葉仮名 — 万葉集
 - かな文字 — 源氏物語
- 問6 奥州藤原氏が本拠地とした平泉（岩手県）は、現在では世界遺産にも登録されています。この地域が平安時代末期に繁栄した歴史的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- 領内で産出される豊富な金を、平氏の政権や中国の宋との交易に用いることで、強大な経済力を蓄えた。
 - 石見銀山から産出される銀を独占し、朝鮮半島との直接貿易を行うことで莫大な利益を得た。
 - 関東地方から産出される鉄を管理下に置き、源頼朝と協力して平氏を倒すための武器を量産した。
 - 日本海側の良質な銅を宋へ輸出し、代わりに大陸から最新の製鉄技術を導入して軍隊を強化した。
- 問7 平安時代に興った「国風文化」において、漢字を簡略化して作られた「かな文字」が普及したことにより、日本の文化にどのような変化がもたらされましたか。その説明として最も適切なものを選んでください。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- 中国からの公文書を正確に理解するために、全ての公的書類がかな文字で統一されるようになった。
 - 万葉集を編纂するために、大陸から伝わった最新のアルファベットと漢字を組み合わせて使うようになった。
 - 漢字では表現しにくかった日本人の繊細な感情や考えを、文章で自由に表現できるようになった。
 - 仏教の経典を庶民に広めるため、インドの文字を参考にして新しい表音文字が作られた。
- 問8 源頼朝が成立させた鎌倉幕府と、その直前に権力を握った平氏政権の政治体制の違いについて述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- 平氏は関東の武士を基盤に幕府を組織したが、源頼朝は京都の貴族と結びつくことで政治の主導権を握った。
 - 平清盛は征夷大將軍として全国の武士を支配したが、源頼朝は執権という役職を新設して幕府の仕組みを整えた。
 - 平清盛は太政大臣という朝廷の最高職に就いて権力を振るったが、源頼朝は征夷大將軍として朝廷から自立した軍事政権を組織した。
 - 平氏は地方の武士の不満を背景に天皇に取って代わろうとしたが、源頼朝は平将門の乱を鎮圧した功績で政治の実権を与えられた。
- 問9 1156年に起こった保元の乱に続き、その3年後の1159年に発生した、源氏と平氏の対立を背景とする政変について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- 平清盛が源義朝を破って勝利し、のちに武士として初めて太政大臣に任命され、平氏が政権を握るきっかけとなった。
 - 足利尊氏が後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、京都に武家政権を樹立するきっかけとなった。
 - 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして挙兵したが敗れ、幕府の支配力が西日本まで及ぶきっかけとなった。
 - 源頼朝が壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、のちに征夷大將軍に任命されて鎌倉幕府を開くきっかけとなった。
- 問10 平安時代中期には、紫式部が執筆した『源氏物語』や、清少納言が記した『枕草子』など、優れた女流文学が数多く生まれました。このような文化が発展した理由や背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- 仏教の教えが民衆に広まったことで、現世の不浄を説く物語や、死後の世界を詳しく描く文学作品への関心が高まったため。
 - 遣唐使の停止をきっかけに日本独自の生活様式や感性が重視されるようになり、日本語の音を自由に表現できる「かな文字」が広まったため。
 - 宋との貿易を通じて新しい印刷技術が導入され、宮廷の女性たちが書いた物語が一般の庶民にも広く普及したため。
 - 武士が政治の実権を握り始めたことで、貴族階級の特権を批判し、新しい社会のあり方を提示する文学が求められたため。
- 問11 古代の文化を解説した資料において、漢字を崩したり、漢字の一部を取ったりして「かな文字」が作られていく過程が示されています。このような文字の変化が起きた背景や、その時代の文化の特徴として正しい説明はどれですか。 (2020年 滋賀県公立入試 類似)
- 飛鳥時代から続く律令政治を強化するために、遣唐使が持ち帰った最新の知識を民衆に分かりやすく伝える必要が生じ、公用文をすべて「かな文字」で記述する制度が整えられた。
 - 奈良時代に唐の文化を模倣することへの批判が強まり、遣唐使を派遣する代わりに、正倉院の宝物を手本として漢字を使わない独自の国風文化をゼロから作り出す運動が起こった。
 - 大陸からの仏教文化の流入が途絶えたため、正倉院に代表される国際的な文化が衰退し、これに代わる新しい文化を作るために政府が主導して漢字から「かな文字」への移行を命じた。
 - 遣唐使の派遣が停止されたことなどを背景に、それまで取り入れてきた大陸の文化を日本の風土や好みに合わせる工夫が進み、仏教文化を基盤としつつも日本独自の国風文化が形成された。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 複数の娘を異なる天皇の后にすることで、どの代の天皇に対しても常に母方の親戚という優位な立場を確保し続けたから。	道長は複数の娘を複数の天皇に嫁がせることで、どの天皇が即位しても自分が「天皇の祖父」や「天皇の叔父」という外戚の立場になれるよう画策しました。これにより、一過性の権力ではなく、世代を超えて摂政や関白の職を藤原北家が独占できる仕組みを作り上げ、全盛期を築きました。
問2	答え 1 古今和歌集	藤原氏が摂関政治を行い権力を握った平安時代中期には、それまでの唐の影響を消化した日本独自の文化が成立しました。この流れの中で、漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、これを用いて編集された最初の勅撰和歌集が、紀貫之らによって選ばれたこの作品です。
問3	答え 2 大輪田泊（現在の神戸市）を修築し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に推進した。	平清盛は、武力だけでなく経済力によって権力を維持しようと考えました。当時、中国大陆を支配していた宋（南宋）との貿易（日宋貿易）に目をつけ、大型船が入港できるように現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に改修しました。この貿易を通じて、日本からは金や硫黄などを輸出し、宋からは宋銭（銅銭）や絹織物、陶磁器などを輸入しました。特に宋銭が国内に大量に流入したことは、後の日本の貨幣経済の発展に大きな影響を与えました。
問4	答え 2 極楽浄土の様子をこの世に再現しようとして、阿弥陀仏を本尊とする平等院鳳凰堂などが建立された。	藤原頼通によって建立された宇治の平等院鳳凰堂は、当時の人々が憧れた極楽浄土の光景を表現した代表的な建築です。建物の中央には本尊である阿弥陀如来（阿弥陀仏）像が安置されており、浄土信仰が当時の貴族の美的感覚や建築文化に多大な影響を与えたことを示しています。
問5	答え 4 かな文字 ― 源氏物語	漢字の一部を取ったり、全体を崩したりして作られた「かな文字」の発明は、国風文化における大きな特徴の一つです。これによって、紫式部が著した『源氏物語』や清少納言の『枕草子』など、貴族女性による優れた文学作品が生み出され、日本独自の文化が深まる要因となりました。
問6	答え 1 領内で産出される豊富な金を、平氏の政権や中国の宋との交易に用いることで、強大な経済力を蓄えた。	奥州藤原氏は、東北地方で採掘される「金」を朝廷への献上や宋との貿易に活用しました。これにより、京都の貴族社会とのつながりを維持しつつ、独自の北方交易ルートを築いて平和な独立王国のような繁栄を維持しました。選択肢にある銀や銅、鉄はこの地域の繁栄の主因ではありません。
問7	答え 3 漢字では表現しにくかった日本人の繊細な感情や考えを、文章で自由に表現できるようになった。	平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、日本の風土や日本人の感覚に合った「国風文化」が発達しました。この時期に「かな文字」が考案されたことで、それまでの漢文主体の記述では難しかった個人の微妙な心情や身近な出来事を描写することが可能になり、女性による物語や日記文学などの優れた作品が多く生み出されました。
問8	答え 3 平清盛は太政大臣という朝廷の最高職に就いて権力を振るったが、源頼朝は征夷大將軍として朝廷から自立した軍事政権を組織した。	平清盛は1167年に太政大臣に就任し、貴族と同じような立場で政治を動かす道を選びました。これに対し、源頼朝は1192年に征夷大將軍に任命されることで、京都の朝廷とは距離を置いた鎌倉の地に独自の軍事政権である鎌倉幕府を確立しました。この違いは、武士が単なる貴族のガードマンから、独自の組織を持つ統治者へと進化した過程を示しています。なお、平将門の乱は10世紀の出来事であり、頼朝の時代より200年以上前であるため、選択肢の背景としては不適切です。
問9	答え 1 平清盛が源義朝を破って勝利し、のちに武士として初めて太政大臣に任命され、平氏が政権を握るきっかけとなった。	1159年に起こった平治の乱は、保元の乱の後の恩賞などを巡る対立が背景にあります。この乱で源義朝を破った平清盛は、急速に勢力を拡大しました。清盛はその後、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に就任し、一族で高位高官を独占するとともに、日宋貿易を推進して平氏の全盛期を築きました。
問10	答え 2 遣唐使の停止をきっかけに日本独自の生活様式や感性が重視されるようになり、日本語の音を自由に表現できる「かな文字」が広まったため。	894年の遣唐使の停止以降、中国の影響を消化しつつ日本の風土や好みに合わせた「国風文化」が花開きました。特に、漢字の音や訓を借りて作られた「かな文字（平仮名）」の発明により、漢字だけでは表現しきれなかった繊細な心情や宮廷の生活を日本語で綴ることが可能になり、紫式部などの女性作家による文学が隆盛しました。
問11	答え 4 遣唐使の派遣が停止されたことなどを背景に、それまで取り入れてきた大陸の文化を日本の風土や好みに合わせる工夫が進み、仏教文化を基盤としつつも日本独自の国風文化が形成された。	平安時代中期、894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されると、それまで取り入れてきた中国の文化を日本の生活や感情に合うように消化・吸収する動きが活発になりました。この時期に漢字から「かな文字」が作られたことで、日本人の心情を細やかに表現することが可能になり、紀貫之の『土佐日記』や紫式部の『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれました。これは、外来の仏教文化などを日本風に変容させた「国風文化」の大きな特徴です。

- 問1 平安時代末期の東北地方において、産出される金や北方貿易による経済力を背景に、平泉を中心に独自の文化を栄えさせた一族の名前と、その拠点となった地名の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 北条氏と小田原 2. 奥州藤原氏と平泉 3. 平氏と六波羅 4. 源氏と鎌倉
-
- 問2 平安時代に紫式部によって執筆され、唐などの中国文化をもとに日本の生活や感情に合わせて発展した文化を代表する長編小説として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 徒然草 2. 枕草子 3. 源氏物語 4. 平家物語
-
- 問3 平安時代後期に白河上皇が始めた、天皇が位を譲った後も上皇（太上天皇）として、摂政や関白の力を抑えながら政治の実権を握る形態を何とよいか、名称を答えなさい。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 摂関政治 2. 院政 3. 親政 4. 武家政治
-
- 問4 平安時代の政治家である藤原実資の日記には、藤原道長が「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも なしと思えば」と詠んだ和歌が記されています。このように、満月を自分の権力に例えるほどの全盛期を迎えた藤原氏の時代背景の中で成立した、王朝文化を代表する作品はどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 風土記 2. 平家物語 3. お伽草子 4. 源氏物語
-
- 問5 平安時代初期の仏教は、奈良時代の仏教が政治に深く関わったことへの反省から、人里離れた山奥に寺院を建立して厳しい修行を行うという特徴を持っていました。この時期に、現在の和歌山県にある高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた人物は誰ですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 聖徳太子 2. 鑑真 3. 空海 4. 最澄
-
- 問6 平安時代の政治において、藤原氏による摂関政治が全盛期を迎えていた時期の社会背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この時期には、1053年に建立された平等院鳳凰堂に代表されるような、極楽浄土を願う信仰も広まりました。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。 2. 遣唐使を通じて唐の進んだ制度や仏教文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな文化が形成された。 3. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が東国を中心に広まった。 4. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの簡素な美しさを尊ぶ文化が形成された。
-
- 問7 現在の十円硬貨にもデザインされている、京都府宇治市に位置する平安時代の建築物の特徴を正しく説明したものはどれか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 二重の屋根を持つ金堂や五重塔が配置され、飛鳥時代の様式を伝える世界最古の木造建築物として知られている。 2. 漆塗りの上に金箔を貼り巡らせた三層の楼閣建築で、庭園には全国の守護大名から献上された石が配置されている。 3. 池の中央に建てられた阿弥陀堂を中心とし、左右に翼廊、背後に尾廊を持つ、左右対称の華麗な姿をしている。 4. 急な斜面に突き出すように建てられた「舞台造」が特徴で、重厚な瓦屋根と巨大な柱で支えられている。
-
- 問8 院政が行われていた時期、有力な寺院は広大な荘園を領有し、経済力を背景に独自の武力を持つようになりました。当時の有力者が「思い通りにならないもの」の一つとして挙げた、この武装した集団の名称と、その活動内容の説明として正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 「僧兵」と呼ばれ、延暦寺などの大寺院を拠点に、神木や神輿を担いで朝廷に無理な要求を突きつける「強訴」を行った。 2. 「悪党」と呼ばれ、幕府の支配に従わずに荘園領主の年貢納入を妨げるなど、社会秩序を乱す行動をとった。 3. 「足軽」と呼ばれ、特定の拠点は持たず、集団で行動して戦場での放火や略奪を主な活動とした。 4. 「武士」と呼ばれ、上皇の身辺を警護する「北面の武士」として組織され、朝廷の軍事力を支えた。
-
- 問9 平清盛が最高官職に就任したのち、さらに強力な政治的権限を獲得するために用いた手法の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 征夷大將軍の称号を得て独自の武家政権を樹立した。 2. 全国の地頭から年貢を徴収する権利を独占し、経済的基盤を固めた。 3. 自分の娘を天皇のきさきにし、天皇家の親戚となることで権力を強めた。 4. 院政を行う上皇を排除し、すべての貴族を自らの家臣にした。
-
- 問10 日本の平安時代中期から後期における世界情勢について、当時の中国大陆の状況を説明した文として正しいものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 律令制度を完成させた唐が、東アジアの広い範囲を支配していた。 2. 漢が滅んだ後、魏・呉・蜀の三つの国が争う時代であった。 3. チンギス・ハーンがモンゴル帝国を築き、元が中国を支配した。 4. 唐が滅んだ後の分裂状態を解消し、宋が中国を統一した。
-
- 問11 平安時代の政治の変遷を示す資料において、藤原道長や頼通の時代から約100年後の状況として、白河・鳥羽・後白河の3名に共通する、政治の実権を握る上での立場を何とよいか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 関白 2. 執権 3. 將軍 4. 上皇
-
- 問12 日本の有形文化財の分類において、奈良県の東大寺の大仏と並び、東北地方の代表的な歴史的建造物として岩手県に現存する中尊寺金色堂があります。この建物を建立し、本拠地である平泉を拠点として12世紀に三代にわたって繁栄した一族を選んでください。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 平氏 2. 北条氏 3. 奥州藤原氏 4. 太宰府の官人
-
- 問13 12世紀後半、平清盛を中心とする平氏政権から、源頼朝による鎌倉幕府へと権力が移行した背景や仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 平氏は天皇を退位させて自ら天皇の座に就こうとしたが、源頼朝が朝廷の伝統を守るために立ち上がり、全国の貴族から熱烈な支持を得て勝利した。 2. 平氏は貴族のような官位を得ることに注力して地方武士の不満を招いたが、源頼朝は守護・地頭の設置を認めさせるなど武士の権利を守る仕組みを整えた。 3. 平氏は保元・平治の乱の直後に鎌倉幕府を開いたが、承久の乱で敗北したため、源氏が新たに征夷大將軍となって幕府を引き継いだ。 4. 平清盛は日宋貿易を独占して地方武士を支配したが、源頼朝は平将門の乱の際に確立された「公事」の制度を用いて武士の支持を集めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 奥州藤原氏と平泉	陸奥国（現在の東北地方）では、11世紀末から12世紀にかけて奥州藤原氏が勢力を拡大しました。彼らは京都の文化を吸収しつつ、平泉を拠点に中尊寺や毛越寺などを建立し、仏教の教えに基づく平和な理想郷を目指しました。これら平泉の文化遺産は、その歴史的価値から世界文化遺産にも登録されています。
問2	答え 3 源氏物語	紫式部によって書かれた物語は「源氏物語」であり、貴族社会の様子や情念を描いた国風文化の代表作です。なお、「枕草子」は清少納言による随筆、「平家物語」は鎌倉時代の軍記物語、「徒然草」は鎌倉時代末期の吉田兼好による随筆です。
問3	答え 2 院政	1086年に白河上皇が始めた政治体制です。それまで藤原氏が摂政や関白として政治を動かしていた摂関政治に対し、天皇の父や祖父である上皇が自ら政治を行うことで、藤原氏の影響力を排除し、皇室に実権を取り戻そうとしました。
問4	答え 4 源氏物語	藤原道長が詠んだ和歌は、摂関政治によって権力の絶頂にいた藤原氏の状況を象徴しています。この時期に栄えた国風文化の代表作が『源氏物語』です。他の選択肢について、『平家物語』は武士が台頭する鎌倉時代の作品であり、『お伽草子』は室町時代に流行した物語、『風土記』は奈良時代に各地の伝承などをまとめた報告書です。
問5	答え 3 空海	平安時代初期、遣唐使として唐に渡った空海は、帰国後に高野山（和歌山県）を拠点として真言宗を開きました。これまでの都市型の仏教とは異なり、山の中で修行に励むスタイルは、当時の平安文化の大きな特色の一つとなりました。同じ時期に活躍した最澄は、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めています。
問6	答え 1 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。	摂関政治の全盛期は国風文化の円熟期にあたります。この時期、紫式部による『源氏物語』や清少納言による『枕草子』といった、かな文字を用いた文学作品が誕生しました。また、建築面では阿弥陀如来を祀る平等院鳳凰堂が建立されるなど、日本の風土に根ざした貴族文化が花開きました。
問7	答え 3 池の中央に建てられた阿弥陀堂を中心とし、左右に翼廊、背後に尾廊を持つ、左右対称の華麗な姿をしている。	平等院鳳凰堂は、阿弥陀如来が住む極楽浄土の宮殿を模して造られました。大きな池の中に島を設け、そこに建物を配置することで、水面に建物が映り込むように設計されています。この左右対称の美しい構造は、当時の貴族が好んだ寝殿造の影響を強く受けており、当時の高度な建築技術と美意識を現代に伝えています。
問8	答え 1 「僧兵」と呼ばれ、延暦寺などの大寺院を拠点に、神木や神輿を担いで朝廷に無理な要求を突きつける「強訴」を行った。	院政期の大寺院は、僧侶でありながら武器を持った「僧兵」を抱え、宗教的な権威を利用して政治に介入しました。彼らは仏や神の力を背景に、神木や神輿を先頭に立てて京都へ押し寄せ、上皇や貴族に自分たちの要求を認めさせる「強訴（ごうそ）」を繰り返しました。白河上皇は、鴨川の水の流れ、双六のさいの目、そしてこの比叡山延暦寺の僧兵（山法師）だけは、自分の意のままにしないと嘆いたという逸話が残っています。悪党は鎌倉末期の新興勢力、北面の武士は上皇が僧兵に対抗するために組織した警護兵を指します。
問9	答え 3 自分の娘を天皇のきさきにし、天皇家の親戚となることで権力を強めた。	平清盛は太政大臣となった後、かつての藤原氏による摂関政治にならい、自らの娘を天皇のきさきとすることで天皇家の親戚（外戚）となり、政治的な影響力を一層高めました。
問10	答え 4 唐が滅んだ後の分裂状態を解消し、宋が中国を統一した。	10世紀後半、長らく続いた混乱期を收拾して成立したのが宋です。平安時代の日本では、寛平の遣唐使廃止（894年）の後、大陸との公式な国交は途絶えていましたが、宋の商人による民間貿易（日宋貿易）は活発に行われており、陶磁器や宋銭などが日本へもたらされていました。
問11	答え 4 上皇	白河・鳥羽・後白河の3名は、いずれも天皇の位を退いて「上皇」という立場になり、自分の居所である「院」において政治を行いました。この時期は、天皇よりも上皇が強い権力を持つことが通例となりました。
問12	答え 3 奥州藤原氏	現在の岩手県平泉町を本拠地とした奥州藤原氏は、清衡、基衡、秀衡の三代にわたり、東北地方で独自の文化を築き上げました。中尊寺金色堂は、その繁栄を象徴する豪華な阿弥陀堂であり、奥州で産出された豊富な金がふんだんに使われています。選択肢にある太宰府は九州の政治拠点であり、平泉とは地理的に全く異なる場所です。
問13	答え 2 平氏は貴族のような官位を得ることに注力して地方武士の不満を招いたが、源頼朝は守護・地頭の設置を認めさせるなど武士の権利を守る仕組みを整えた。	平氏は保元・平治の乱を経て権力を握りましたが、その手法は高い官位を独占するなど貴族的な政治に近いもので、土地の支配権を巡って対立していた地方武士（御家人）の期待に十分応えるものではありませんでした。これに対し、源頼朝は平氏を倒した後、朝廷から守護・地頭の設置権を獲得し、武士の土地支配（本領安堵）を保障する仕組みを構築したことで、武士階級からの強固な支持を得ることに成功しました。